

令和3年度 学校総括評価表

徳島市北井上中学校

自己評価				次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	
規範意識や思いやりの心を持ち、自ら考え行動できる生徒を育成する。	1 相手の気持ちを考えた言動ができるようにする。 2 自ら考え、行動できるようにする。 3 あいさつの習慣を定着させる。	<b>評価指標</b> 1 相手の気持ちを考えた言葉遣いができていると考えている生徒が70%以上いる。(アンケート調査) 2 自分の気持ちを素直に表現したり、自分で考え行動することができたと考えている生徒が70%以上いる。(アンケート調査) 3 あいさつをきちんとできたと考える生徒が、80%以上いる。(アンケート調査)	<b>評価指標の達成度</b> 1 できていると考える生徒が75%であり、目標を達成できた。 2 できたと考える生徒が60%であり、目標を達成できなかった。 3 できたと考える生徒が81%であり、目標を達成できた。	総合評定 (評定)  B  (所見) 「相手の気持ちを考えた言葉遣い」については、昨年度より8ポイント向上している。「自分の気持ちを表現、自分で考え行動」については、コロナ禍で十分な活動ができなかったが、文化祭では、各学年、アイデアを出し合い主体的に活動することができた。あいさつについては、大きな声であいさつできる生徒が増えてきている。
		<b>活動計画</b> 1 生徒一人一人の人権感覚を高める取り組みを実施する。 2 集団の中で、生徒自身が自ら考え行動する機会を行事や体験的な活動等を通してつくる。 3 あいさつ運動を実施する。	<b>活動計画の実施状況</b> 1 道徳・人権についての研究授業を各学年で実施し、校内研修を行った。また、学校全体でポジティブな行動支援に取り組んだ。 2 運動会や文化祭は感染症対策をとりながら工夫し実施することができたが、修学旅行や職場体験、保育実習等、実施できなかった活動もあった。 3 生徒会を中心に『朝のあいさつ運動』を計画的に実施した。	
生徒一人一人に応じた確かな学力を育成する。	1 基礎的な知識や技能を習得するとともに、それを活用して課題を解決するために必要な思考力等を育成する。 2 自ら学ぶ力を身につけさせる。	<b>評価指標</b> 1 朝の読書にまじめに取り組んでいると考えている生徒が70%以上いる。(アンケート調査) 2 授業中に自分の考えを積極的に発表できたと考えている生徒が45%以上いる。(アンケート調査) 3 1日平均1、2年生は2時間、3年生は3時間の家庭学習ができていると考えている生徒が過半数いる。(アンケート調査)	<b>評価指標の達成度</b> 1 取り組めたと考える生徒が57%であり、目標を達成できなかった。 2 発表できたと考える生徒が33%であり、目標を達成できなかった。 3 1年生39%、2年生40%、3年生23%であり、すべての学年で目標を達成できなかった。	総合評定 (評定)  C  (所見) 「授業中に積極的に発表」については、昨年度より12ポイント低下した。さらに、生徒の主体的な学びを促す授業改善に努めていかなければならない。家庭学習の時間については、どの学年も目標より1時間程度少ないが、塾での学習を含まないことが影響している。生徒の57%、保護者の56%は、家庭学習がきちんとできているととらえている。
		<b>活動計画</b> 1 朝の読書や図書カード記入により読書習慣の定着を図り、表現力等の基礎を養う。 2 授業中に自ら考え発表する機会をつくることにより、思考力を養う。 3 自主学習の仕方についてアドバイスをし、効果的な家庭学習の習慣を身につけさせる。	<b>活動計画の実施状況</b> 1 授業での読書カード制作、図書委員による本の紹介、図書カードの利用等、図書室利用を増やす取り組みをした。 2 感染症対策に留意しながら、生徒が意見を交流する場面を取り入れた授業を展開し、思考力を高める工夫をした。 3 「学習の手引き」を配布し、各教科で学習の進め方などを指導した。また、毎週水曜日をノー部活デーとしている。	

・引き続き、道徳・人権についての研修を進め、すべての生徒が自分らしく安心して生活できる学級・学校づくりを進める。

・学校全体で取り組むポジティブな行動支援の内容・方法を工夫し、生徒のよさや頑張りを引き出す。

・学校行事や体験的な活動において、できるかぎり生徒が活動の計画や準備・運営などに関わるようにさせる。

・3学期からスタートしたGACV運動(あいさつ・清掃活動ボランティア)を活性化させる。

・朝の学習から読書への切り替えをきちんと行い、読書の時間を確保する。

・鳴門教育大学や教育委員会と連携し、生徒の主体的・協働的な学びを促すための授業改善を進める。

・すべての教科で言語活動を充実させるための取組を考え、実践する。

・教科間で調整しながら、計画的で適切な家庭学習課題を設定する。その際、タブレット端末を積極的に活用する。

自己評価				次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	
健康や安全に留意し、基本的な生活習慣を身につけた生徒を育成する。	1 健康や安全の大切さを理解させる。 2 時間を守ることの大切さを理解させる。	<b>評価指標</b> 1 健康や安全に関しての行事は役に立っていると考えている生徒をできるだけ100%に近づける。(アンケート調査) 2 学校や家庭で時間を守ることができたと考える生徒が75%以上いる。(アンケート調査)	<b>評価指標の達成度</b> 1 役立っていると考ええる生徒は84%であり、昨年度より4ポイント向上した。 2 守ることができたと考ええる生徒は72%であり、目標まであと少しである。	<b>総合評定(評定)</b> B  <b>(所見)</b> 食育委員が「食育クイズ大会」を企画・運営するなど、生徒が主体的に活動することができた。また、防災訓練では、様々な状況を想定し、訓練を行った。時間を守ることは、学校生活の中ではおおむね良好な状態である。家庭において時間を守ることが課題である。
		<b>活動計画</b> 1 健康や安全に関する活動や行事を実施する。 2 学校生活の中で時間を守ることの意義について、機会を捉えて指導する。	<b>活動計画の実施状況</b> 1 食育パワーアップ作戦、通学路安全点検、防災訓練は実施できたが、交通安全教室、救急救命法講習会等は実施できなかった。 2 予鈴での移動等、教職員共通理解のもと指導を行った。	
開かれた学校づくりをめざす。	1 保護者や地域に対して、積極的に情報発信をする。	<b>評価指標</b> 1 学校は家庭連絡をきちんとしていると考えている保護者が70%以上いる。(アンケート調査) 2 学年だよりやホームページ等を通じて学校の様子がよくわかると思っている保護者が70%以上いる。(アンケート調査)	<b>評価指標の達成度</b> 1 家庭連絡ができていると考える保護者が75%であり、目標を達成できた。 2 学校の様子がよくわかると思っている保護者が86%であり、目標を達成できた。	<b>総合評定(評定)</b> A  <b>(所見)</b> 生徒としっかり関わり、気づきを教職員で共有するとともに、家庭との連絡を密にすることによって、保護者の理解・協力を得られることができた。また、ホームページによる情報発信の回数や内容の充実を図ることにより「学校の様子がよくわかる」が昨年度より13ポイント向上した。
		<b>活動計画</b> 1 日頃の連絡や三者面談、オープンスクール等を通じて、できるだけ子どもたちの学校での様子がわかるよう取り組む。 2 学年だよりやホームページ等を通じて、教育活動の様子について積極的に知らせる。	<b>活動計画の実施状況</b> 1 日頃の連絡はもちろんのこと三者面談・オープンスクールを実施したが、回数は制限された。また、文化祭や運動会はケーブルテレビで放映してもらった。 2 教育活動の様子や感染症対策について、ほぼ毎日、ホームページで情報発信した。また、学年だより・保健だより・給食だより等を月一回発行した。	

「評定」の基準 A:十分達成できた。 B:おおむね達成できた C:達成できなかった

### <学校関係者評価>

- ・自ら考え、行動できる子どもに育ててほしい。中学生のときに、いろいろな経験をしてほしい。自分以外の人の意見や考えから得られることは多い。
- ・生徒アンケートの5, 6, 9の項目が少し低めなので、自分に自信が持てるような体験が大切である。また、家庭での会話や自信が持てるような声かけなども必要である。
- ・相手を思いやれる優しい気持ちやいじめがあったら助けるといった項目は高いのですばらしい。 ・少人数を生かし、一人一人に気をかけてほしい。
- ・気持ちよくあいさつをすることが定着していて、校外で会ったときもかわいくあいさつをしてくれる。地域の方々もうれしく感じ、子どもたちを見守ってくれている。
- ・学習に関して、学校で気軽にあたりまえのように質問できる環境づくりやテストの後のフォローをしてほしい。 ・先生や家族などの経験を子どもに聞かせてほしい。
- ・小中がしっかりと連携して、確かな学力の育成に取り組んでいきたい。 ・生徒の学習意欲が向上するような授業内容をお願いしたい。
- ・家庭学習の時間は塾の時間を含めてもいいと思う。 ・登下校の様子や休日の様子から、基本的な生活習慣が確立しており、健康安全に留意して生活できている。
- ・コロナ禍の中、感染症対策をとりながら、学校行事など、できることを進めていき、子どもたちのためにがんばってくれている。
- ・「自らの命は自分で守る」リアルな知識や経験が効果的で、危険回避行動を身に付けさせる。通学路安全点検の取り組みはよかった。
- ・学校ホームページで積極的に情報発信しており、楽しみにしている保護者が多い。 ・保護者も積極的に学校のことを知ろうとする意識を持たないといけない。